

校庭のサクラ、トチノキ、イチヨウの木と、順番に落葉します。子どもたちはイチヨウの葉っぱを集めてふかふかベットを作ったり、秘密基地を校庭の隅に作ったり、豊かな発想・創造力の持ち主です。自然を満喫しています。そして、今年も落ち葉掃きボランティアの皆様大変お世話になりました。2024年も残り約2週間となりました。12月は「師走」と言いますが、諸説あるものの、その由来は普段ゆったりとした動作のお坊さんさえも、12月になるとお経をあげるために東西を馳せる月「師馳す(しはす)」からきているとも言われています。年末が近づきだすと、子どもたちも、石橋北小学校での師である先生方もあちらこちらに走り回りながら、学習のまとめに忙しい日々を送っています。

後期前半では、11月の運動会や授業参観、臨時PTA総会、12月の持久走記録会等、保護者の皆様には何度もご来校いただきありがとうございました。さらに、臨海自然教室や宿泊学習、校外学習などの学年行事では、準備や送迎など大変お世話になりました。お陰で、行事を計画通り実施することができ、それぞれのためあてを達成することもできました。保護者の皆様の温かいご支援、ご協力に心より感謝いたします。

これから冬休みに向けてお家で過ごす時間も長くなってきますが、ぜひ家族の一員としての時間を大切に、普段学校だけではできない体験を通して、大きく成長してほしいと思います。そんな中で、大掃除のお手伝いがお勧めです。掃除を体験する中で見えないところに気を配ったり、丁寧に取り組む姿勢であったり、皆で使う場所を丁寧にきれいに使用する公共心であったり、また普段きれいにしてくれている人への感謝の気持ちを知ってもらうきっかけになればと思います。

これから冬休みに向けてお家で過ごす時間も長くなってきますが、ぜひ家族の一員としての時間を大切に、普段学校だけではできない体験を通して、大きく成長してほしいと思います。そんな中で、大掃除のお手伝いがお勧めです。掃除を体験する中で見えないところに気を配ったり、丁寧に取り組む姿勢であったり、皆で使う場所を丁寧にきれいに使用する公共心であったり、また普段きれいにしてくれている人への感謝の気持ちを知ってもらうきっかけになればと思います。

11/13(水)下野市児童表彰式

全国初の「子ほめ条例」制定から39年

多くのご来賓の方々にご臨席を賜り、下野市児童表彰式が行われました。これは、児童一人一人の優れたところ、良いところを見だし、自信と誇りをもってもらうため、毎年下野市が行っている事業です。坂村市長様からは、メダルを直接首にかけていただき、石崎教育長様からは、表彰状をいただきました。その後、坂村市長様から温かい励ましのお言葉をかけていただきました。

6年生は、自分のよさをさらに磨きをかけて、残り3ヶ月の小学校生活も学校のリーダーとして活躍してほしいと思います。



11/20(水)小中合同クリーン活動

石橋中学校区小中一貫教育の取組の一つ、「小中合同クリーン活動」を実施しました。朝から本校卒業生の石橋中学生が石橋北小学校に集まってきました。小中学生がグループに分かれ、落ち葉掃きや校内の清掃を行いました。久しぶりに小学校に来て、いろいろなものが小さく感じるとささやく中学生の声が聞こえました。心身ともに成長した証拠です。最後に、全児童生徒で共遊をし、さらに小中の「輪」が広がりました。小学生時代にたくさん遊んでもらった中学生と手をつないで再会を喜ぶ児童や、地域の回覧板を見て参加して下さった地域の方とも「輪」を感じました。懐かしの恩師と会話が弾み、まだまだ報告したいことがありそうでしたが、笑顔で少しずつ自転車を漕ぎ出す中学生を見送りました。

中学生の皆さん、地域の皆様、ありがとうございました。
活動の様子→

12/10(火)子ども未来プロジェクト委員による人権集会

下野市子ども未来プロジェクト、石橋中学校区小中学校のテーマは「輪」です。人権集会で、子ども未来プロジェクトに参加した6年生の代表が、学級の「輪」について発表しました。そこでさらに、学校全体の「輪」を広げるためにレクリエーションを企画しました。レインボー班の友だちをよく知り、もっと仲を深め、「輪」を広げようと声をかけゲームをしました。最後に、6年生児童が、「石北小の輪」だけでなく、「地域の輪」も広げられるように一人一人が人との温かいつながりを意識して過ごしましょうと全児童に伝えました。



12/4(水)~6(金) 5年生臨海自然教室

自然の家では、海浜探検サイクリング、野外調理、砂浜活動(砂の造形)、塩作り等、海浜ならではの活動を行いました。子どもたちは、集団活動を通して、互いを思いやり、共に協力し合い、成長の一步となりました。今回の自然教室での学びを、今後の学校生活に生かしてくれると期待しています。集団活動を通して、互いのよさを感じたとき(こと)を5年生に聞いてみました。ご紹介します。

- ☆困ったとき、話し合っ解決できた
- ☆優しく声をかけてくれた
- ☆お母さんみたいに接してくれた
- ☆意外と面白い人だった
- ☆楽しい雰囲気を作ってくれた
- ☆靴を並べてくれた
- ☆困っていたら助けてくれた
- ☆褒め上手、話上手
- ☆いつも声をかけてくれた
- ☆仲がよく居心地がよい



11/29(金) 授業参観 花育

子どもたちは家族の方にいいところを見せようと、真剣に授業に取り組んでいました。学級懇談会にもたくさんの保護者の御参加をいただきありがとうございました。また、臨時PTA総会では、PTA組織改正に関してご協議いただきましたが賛成多数で成立いたしました。今後ともPTA活動への参加にご協力をお願いいたします。

6年生は、ジャパンフラワー強化プロジェクトの「花育体験」で、花束作りを学びました。講師の南木様のご指導を受け、完成した花束にメッセージを添えて、保護者や祖父母へ送りました。花束を見つめる保護者も子どもたちも、みんな笑顔になっていました。

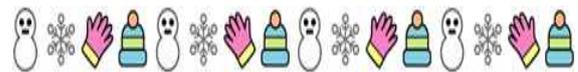


4月からスタートした令和6年度ですが、保護者の皆様には、学校の教育活動へのご協力、本当にありがとうございました。石北小の子どもたちが、素直で、明るく、元気に成長していることを、当たり前のごことは思わず、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆様、地域の皆様のおかげであると、感謝の気持ちでいっぱいです。子どもたちが1月8日に元気に登校して来てくれることを願っています。年末に向けくれぐれもご自愛の上、お健やかに新年をお迎えください。

人権週間 ありがとうを伝えよう

本校では、人権週間に「ありがとうカード」作りを行います。共遊(レインボー班活動)を推奨している本校では、レインボー班で活動した友だちに感謝の気持ちを伝える取組を行っています。「遊びにさそってくれてありがとう」「あいさつしてくれてありがとう」「掃除の仕方を教えてくれてありがとう」等、子どもたちが日頃の感謝の気持ちをカードに書いて多目的ホールに掲示します。

また本校は、保護者の皆様、地域の皆様に多くの支えをいただいています。しかしながら、それが当たり前になってしまわないようにすることが大切だと思っています。登下校の見守り、様々な活動等、どのような気持ちでして下さっているのか、相手の気持ちを想像し、それを喜びやありがたさとして受け止められる子どもたちに育ってくれたらと切に願います。相手の優しさを感じられれば感じられるほど、それは自分の心も豊かになることを実感してほしいです。温かい「ありがとう」の言葉で、心をぽかぽかにしたいものです。



廃品回収のご協力ありがとうございました



12月7日(土)朝から保護者の皆様や地域の皆様がたくさんの回収品を学校へ持ってきてくださいました。温かいご支援、ご協力をいただきました地域の皆様、保護者の皆様、心より感謝申し上げますとともに、下記のとおり結果報告させていただきます。

廃品回収収益金	合計	132,504円		
【内訳】	新聞	55,025円	雑誌	4,015円
	アルミ缶	61,040円	酒ビン	8円
	ビールケース	450円	ダンボール	11,730円
			ビールビン	236円

収益金につきましては、児童の教育活動資金として有効に使わせていただきます。

****学校のある平日の廃品回収については、下記のとおりです。よろしく願いいたします****

- ・アルミ缶回収→木・金曜日の児童登校時
- ・新聞、雑誌、ダンボール回収→木・金曜日の午後